

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
露地野菜専業経営 II	3人	a		1. 春はくさい、春にんじん、春だいこんはトンネル栽培 2. 春はくさいは、購入苗利用 3. にんじんの収穫は一部委託作業	
		春はくさい	50		
		冬にんじん	200		
		春にんじん	100		
		秋冬だいこん	50		
		春だいこん	100		
		計	500		
		経営耕地面積	水田 150 畑 (借地) 200 (100)		
経営目標	1 農業総収入	32,853 千円	4 1日当たり農業所得	7,147 円	
	2 農業経営費	27,614 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,955 時間	
	3 農業所得	5,240 千円			

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
					千円		千円
建物・施設	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	3,240	24	135
	農具舎	1	軽量鉄骨 30㎡	1	1,620	24	68
	計				4,860		203
農機具	トラクター	1	30PS、140cm幅ロータリー装着	1	3,045	7	218
	管理機	1	6.2PS	1	200	7	14
	動力噴霧機	1	可搬式(5MPa)	1	213	7	15
	トラック	1	1.25tトラック	1	2,199	5	220
	運搬車	1	リフトダンプ(600kg・6.2PS)	1	608	7	43
	堆肥散布機	1	1100kg・乗トラけん引	1	818	7	58
	土壤消毒機	1	ティラーけん引・2条	1	99	7	7
	畦立マルチシーダー	1	乗用トラクター用	1	100	7	7
	播種機(にんじん)	1	歩行2条(コート種子、電動アシスト)	1	238	7	17
	収穫機(にんじん)	1	ソリ式	1/3	149	7	11
	計				7,670		611

3. 技術体系(春はくさい)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗) 床土作り	床土積み 床土消毒 ガス抜き	6月 11月	トラック	2	15	(30)	堆肥 3.5t 石灰質資材 30kg 油粕 30kg	土:有機物=1:1 10a当り 2㎡
育苗床	ハウス育苗	12月上		2	1	(2)	10a当り40㎡	電熱温床
は種準備		12月上	トラック	2	2	(4)	は種箱 20箱 ポリポット 7.5cm	
は種		12月中		2	3	(6)	は種量 40ml	1粒まき 地温20~25℃確保
育苗管理	温度管理 かん水 病害虫防除	12月中~ 1月中	噴霧器	2	12	(24)		育苗中平均温度15~20℃で管理する。 13℃以下では花芽分化しやすい。 最低気温6℃以下には絶対しない。 病害虫防除は県病害虫防除基準による。
						自家育苗参考 (66)		
(本ぼ) 耕うん 整地	耕起 整地	11月下	トラクター	1	4	4	堆肥 2t 石灰質資材 100kg	
施肥 畦立		12月下	施肥他 トラクター 管理機	2 2 1	2 2 4	4 4 4	N 25kg P2O5 35kg K2O 25kg	水田はネコブ病予防のため、土壌 施肥剤を施用する。
マルチ	ポリフィルム 被覆	12月下	マルチ チャー	2	4	8	ポリフィルム 0.02×180cm	地温を高めるため早めにマルチ及び トンネルを被覆する。
トンネル	トンネル被 覆	12月下		2	16	32		
定植		1月中	トラック	2	6	12		栽植密度 うね幅 180cm 3条×40cm(条間40cm) 10a当り 4,700株 育苗日数35日程度、本葉8枚の苗を 定植する。 活着を促すため、必ず定植時のかん 水をする。
かん水		1月中~ 3月中						乾燥は縁ぐされや芯ぐされ症の原因 となるので注意。
換気		2月上~ 3月中		1	34	34		本葉10枚頃までは密閉気味にし、そ の後徐々に換気する。(25℃以上で 換気) 長期の密閉は軟弱徒長するので注意 する。
トンネル除去		3月中~ 3月下		2	2	4		芯葉抱合時にトンネル除去
病害虫 防除	薬剤散布	1月中~ 4月下	動力噴霧 機	2	6	12		使用薬剤及び使用方法は、県病害虫 防除基準による。
収穫 出荷		4月上~ 4月下	運搬車 トラック	2	15	30	ダンボール 633個	収穫適期が短いので注意する。
後かたづけ		1月中~ 3月下	トラック	2	5	10		ほ場に残渣物が残らないように注意 する。
計						158		

3. 技術体系(冬にんじん) p102 を参照

3. 技術体系(春にんじん)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
耕耘・整地	耕耘 整地	10月	トラクター 堆肥散布機	2	2	4	堆肥 2t	有機物は前作に多用しておく。施用する場合は完熟堆肥を用いる。発芽揃いを良くし、岐根を少なくするよう丁寧に耕耘砕土を行う。
土壌消毒	センチュウ 防除 ガス抜き	10月	土壌消毒機 トラクター	2	2	4	土壌消毒剤	は種10日前にはガス抜きを終える。
施肥	全量基肥	11月	トラクター	2	2	4	石灰質資材 120kg 10a当たり成分 N 16kg P2O5 22kg K2O 16kg	
は種		11月	畦立マルチ シーダー	2	4	8	コート種子 10～12万粒 (シーダーテー プの場合、3000 ～4000m)	うね幅160cm、8条(2条 播き×4)、株間4～5cm
除草	除草剤散布	11月	動力噴霧機	2	1	2	除草剤	県雑草防除基準による 適正使用。
間引き		11月下～ 1月上		4	6	24		間引きは2回程度行い、 5～6葉期までに1本仕 立て(株間10cm程度)に する。 株立ち数3.5～4万株
トンネル被覆	トンネル被 覆	11月下～ 12月上		2	16	32	トンネルビニール トンネル支柱	
温度管理	換気、なら し	2月下～ 3月下		1	10	10		トンネル内の温度が30℃ 以上にならないよう換気 する。 トンネル除去7～10日前 から強い換気をして外気 にならす。
トンネル除去		3月下～ 4月上		2	6	12		
病虫害防除	薬剤散布	3月～5月	動力噴霧機	2	5	10	殺菌剤・殺虫剤 防除タンク	県病虫害防除基準によ る適正防除。
収穫・出荷		4月中～ 5月中	収穫機 運搬車 トラック	4	8	32	包丁 コンテナ	M級中心の適期収穫に 努める。 委託掘り取りの利用(全 体の半分) 選果施設へ出荷する。
後かたづけ		4月中～ 5月中	トラック	2	3	6		
計						148		
							委託掘り取 り利用 (132)	

### 3. 技術体系(秋冬だいこん)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
耕耘・整地	耕耘 整地	8月上～ 8月下	トラクター	2	2	4	石灰質資材 100kg 燐酸質資材 20kg	堆肥は前作に施用。 酸度矯正を行う。 耕土が浅いと岐根、変形 の原因となるので深耕 し、十分砕土を行う。
土壌消毒	薬剤処理 ガス抜き	8月	土壌消毒機 トラクター	2	2	4	土壌消毒剤	土壌病害・センチュウ対策
施肥	基肥施用	8月下～ 9月上	トラクター	2	2	4	10a当たり成分 N 10kg P2O5 15kg K2O 10kg	
うね立て は種		9月上～下	播種機	2	6	12	種子量 5dl (シーダーテー プの場合、 1600m)	うね幅120cm×株間25cm (2条)10a当り 6,600株
かん水	かん水施設 設置		スプリンクラー	2	8	16		
除草	除草剤散布	9月上～中	動力噴霧機	1	1	1	除草剤	県雑草防除基準による適 正使用。
間引き		9月下～ 10月中		2	5	10	ハサミ	第1回:本葉2～3枚時に 生育不良株・病虫害被害 株を除く。 第2回:本葉6～7枚で1 本に定める。
追肥 土寄せ		9月下～ 10月中	管理機	1	2	2		間引き終了後
病虫害防除	薬剤散布	9月中～ 11月下	動力噴霧機	2	4	8	殺菌剤・殺虫剤 防除タンク	県病虫害防除基準による 適正防除。
収穫 出荷		11月中～ 1月下	運搬車 トラック	2	16	32		共同選果施設の利用。
後かたづけ		11月下～ 1月下	トラック	2	3	6		
計						99		

3. 技術体系(春だいこん)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
耕耘・整地	耕耘・整地	2月中～12月下	トラクター	1	4	4	石灰質資材 100kg 燐酸質資材 20kg	堆肥は前作に施用。 酸度矯正を行う。 耕土が浅いと岐根、変形の原因となるので深耕し、十分砕土を行う。
土壌消毒	薬剤処理 ガス抜き			2	2	4	土壌消毒剤	土壌病害・センチュウ対策
施肥	基肥施用	12月下	トラクター	2	3	6	10a当たり成分 N 10kg P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 15kg K <sub>2</sub> O 10kg	Nは緩効性肥料を主体に施用する。
除草	除草剤散布	12月下	動力噴霧機	1	2	2		県雑草防除基準による適正使用。
マルチ	ポリフィルム被覆	12月下～1月下	畦立てマルチシーダー	2	4	8	有孔ポリマルチ 500m	マルチ被覆は土壌水分のある時に行う。 30cm×25cm 5条千鳥の有孔マルチがよい。
播種			畦立マルチシーダー管理機	2	6	12	種子量 4dl	うね幅220cm×株間25cm(5条)10a当り 9,000株 1穴に2粒まく。
トンネル設置		1月上～1月下  除去 5月上		2  2	16  3	32  6	ビニール 0.05mm×2.7m ×500m パイプ 500本	
保温管理		1月上～3月下		1	13	13		は種から本葉2枚までは、トンネルを密閉する。本葉10枚までは、高温管理し花芽分化を抑制する。(日中最高30～35℃)10枚以降徐々に換気する(20℃前後)
間引き		1月下～2月上		1	4	4	ハサミ	本葉4～5枚の頃、1本仕立てとする。
病虫害防除	薬剤散布	3月～4月	動力噴霧機	2	6	12	殺虫剤・殺菌剤	県病虫害防除基準による適正防除。
収穫		4月中～5月下	トラック 運搬車	2	16	32		
出荷		4月中～6月	運搬車 トラック	1	7	7		共同選果施設の利用。
後かたづけ		4月中～6月	トラック	2	3	6		
計						148		

4. 品目の作付体系 (○は種, ◯トンネル被覆, △定植, □収穫)

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12	
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
春はくさい			△																				△	△
冬にんじん																								
春にんじん																								○
秋冬だいこん																								
春だいこん																								

5. 作業別・月別労働時間(10a当たり時間)

1) 春はくさい

品目・作業/月・旬 (育苗管理)	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
定植準備等																								0	
定植	12																							56	
温度管理・トンネル除去																								12	
病害虫防除																								38	
収穫出荷																								12	
後かたづけ																								30	
計	0	12	2	8	6	8	8	6	10	14	12	6	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
月計	14			22		24		32	10		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	52		158	

2) 冬にんじん

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計
	上	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
植付準備																								12	
播種																								8	
かん水																								15	
間引き																								24	
土寄せ																								3	
病害虫・雑草防除																								12	
収穫・出荷																								12	
後かたづけ																								6	
計	2	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	6	9	5	9	7	9	10	4	4	3
月計	9			0		0		0	0	0	0	0	14	23	26	11	3	6						92	

3) 春にんじん

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
植付準備																										
播種																										
間引き	6																									
トンネル被覆・換気・除去		2	2	2	2	12																				
病害虫・雑草防除		2	2	2	2																					
収穫・出荷									5	5	6										2					
後かたづけ											3	3														
計	6	0	0	2	4	2	4	2	14	2	0	2	4	0	0	0	0	0	0	6	6	4	16	22	6	6
月計																									132	

4) 秋冬だいこん

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計						
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下							
耕起・施肥																															
は種																															
かん水設置																															
かん水																															
間引他																															
病害虫防除																															
収穫																															
選別出荷																															
後かたづけ																															
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	7	11	9	6	8	6	4	2	16	16	0	3	3	6
月計																									99						

5) 春だいこん

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
耕起・施肥他																												
トンネル被覆・除去	12	10	10						6																			
は種	4	4	4																									
間引				2	2																							
換気				2	2	3	3																					
病害虫防除																												
収穫																												
選別出荷																												
後かたづけ																												
計	16	14	14	2	4	2	5	3	5	2	2	2	8	21	20	3	3	0	0	0	0	0	0	0	4	7	7	148
月計																									148			

6. 露地野菜専業経営Ⅱ 総労働時間

総労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計								
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
うち家族労働	260	260	230	80	110	80	130	80	240	110	80	70	180	260	60	60	0	80	80	120	200	215	195	225	230	170	140	340	390	275	265	5925	
うち雇用労働	260	260	230	80	110	80	130	80	240	110	80	70	180	240	240	60	60	0	80	80	120	200	215	195	225	230	170	140	330	390	275	265	5865
計																									60								